

# 地球温暖化対策実施状況報告書

2019年 7月 12日

（報告先）  
横浜市長

住所 東京都渋谷区渋谷3-6-7

氏名 ボッシュ株式会社  
代表取締役社長 クラウス・メーダー

（法人の場合は、名称及び代表者の氏名）

横浜市生活環境の保全等に関する条例（以下「条例」という。）第144条第2項の規定により、次のとおり報告します。

## 1 地球温暖化対策事業者等の概要

事業者の氏名又は名称 （代表者の氏名）	ボッシュ株式会社 代表取締役社長 クラウス・メーダー				
事業者の主たる 事業所の所在地	東京都渋谷区渋谷3-6-7				
主たる事業の業種	大分類	E 製造業			
	中分類	3 1 輸送用機械器具製造業			
該当する 事業者の要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例施行規則（以下「規則」という。）第89条第1項第1号該当事業者			
	<input type="checkbox"/>	規則第89条第1項第2号該当事業者			
	<input type="checkbox"/>	規則第89条第1項第3号該当事業者			
	<input type="checkbox"/>	地球温暖化対策事業者以外の事業者（任意提出事業者）			
	原油換算エネルギー使用量	2,515	kl	自動車の台数	台

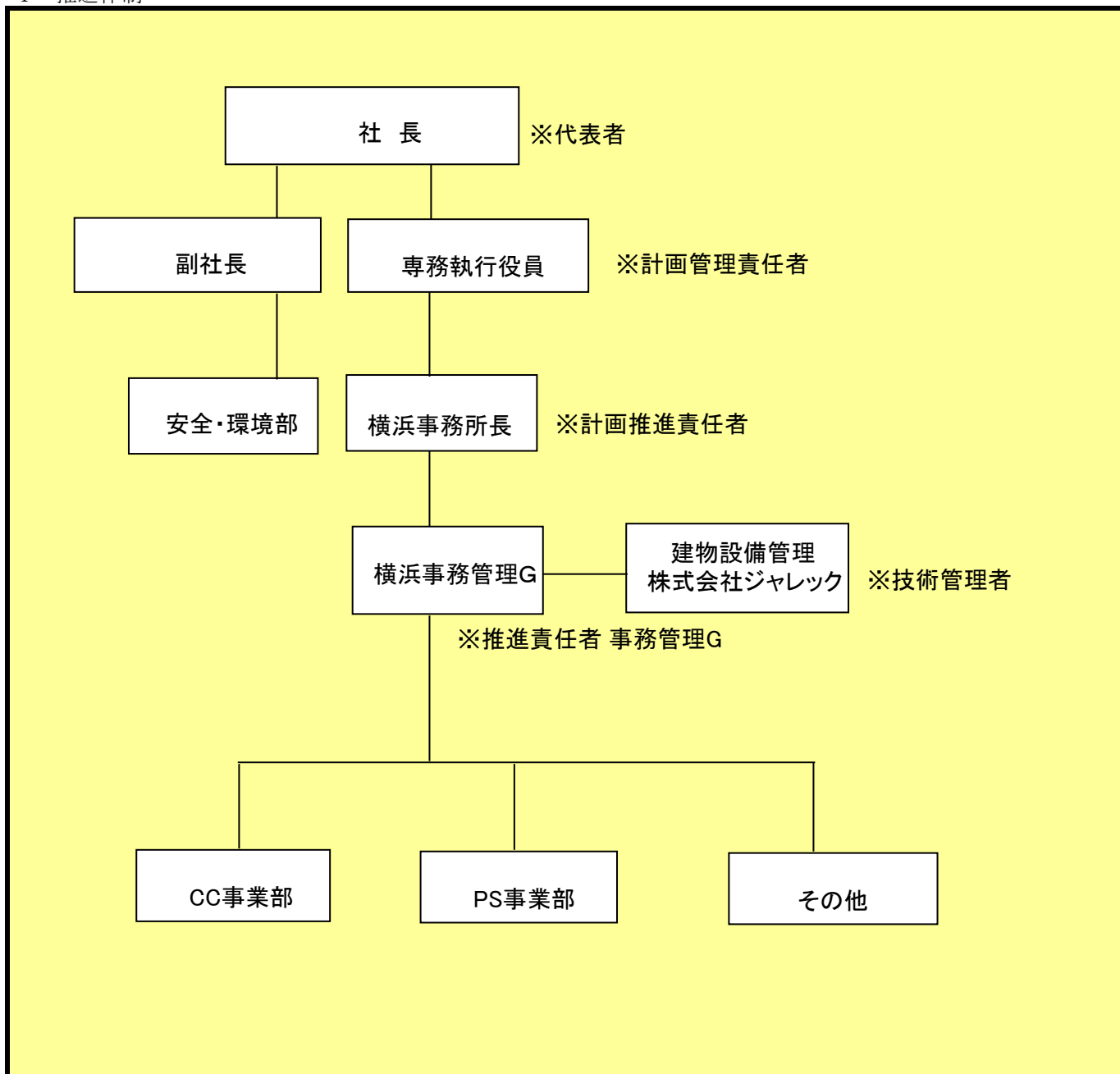
## 2 計画期間及び実施年度

計画期間	2016	年度～	2018	年度	実施年度	2018	年度
------	------	-----	------	----	------	------	----

## 3 温室効果ガスの排出の抑制等を図るための基本方針

<p>[基本方針] ボッシュ株式会社は、自ら定めた「安全環境方針」に従い、温室効果ガスの排出抑制に努めます。</p> <p>[主要なエネルギー使用設備の更新等の検討] ①更新の対象となる主要なエネルギー使用設備 ターボ冷凍機の更新を2018年度に実施 ②上記①の設備を選択した理由 老朽化によるエネルギーロスが多いため。 ③設備更新スケジュール 2018年7月から10月に更新実施済</p>
---

4 推進体制



5 公表の方法等

ホームページ	アドレス	
窓口で閲覧	閲覧場所	横浜事務所 受付（事務管理グループへ連絡ください）
	所在地	横浜市都筑区牛久保3-9-1
	閲覧可能時間	10:00～15:00
冊子	冊子名	
	入手方法	
その他		

細則第38号様式（第2条第49号）  
（総括票）

6の1 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況（第1号及び第2号該当事業者）

基準年度 (2015年度)	基準排出量	3,072	t-CO <sub>2</sub>			基準原単位	12.44	t-CO <sub>2</sub> /億円
	調整後	2,917	t-CO <sub>2</sub>			目標原単位	12.07	t-CO <sub>2</sub> /億円
目標年度 (2018年度)	目標排出量	2,980	t-CO <sub>2</sub>	削減率	3.0 %	削減率	3.0 %	
排出の抑制に係る目標の設定の考え方	<p>基準原単位に対し、毎年1%削減し、目標年度には3%削減する。但し、計画期間中における更なる建屋の増築が行われる。</p> <p>平成28年5月より電力会社を変更した。</p>							
事業者全体としての目標等								
第一年度 (2016年度)	排出量	3,089	t-CO <sub>2</sub>	削減率	▲ 0.6 %	排出原単位	8.73	t-CO <sub>2</sub> /億円
	調整後	3,088	t-CO <sub>2</sub>	削減率	▲ 5.9 %		削減率	29.8 %
目標等の達成状況及び説明	<p>平成28年度は社内での実験が増えたため、揮発油(ガソリン)及び電気の使用が増加した。人員も増加傾向にありエネルギーの使用が増加した。</p> <p>一方、内部活動費が対前年比143%で大幅に増えたため排出原単位としての目標は達成することができた。</p>							
第二年度 (2017年度)	排出量	3,364	t-CO <sub>2</sub>	削減率	▲ 9.5 %	排出原単位	8.22	t-CO <sub>2</sub> /億円
	調整後	3,360	t-CO <sub>2</sub>	削減率	▲ 15.2 %		削減率	33.9 %
目標等の達成状況及び説明	<p>2017年度はビジネスが好調で人員が増加傾向にあり、さらに、実験設備の増設によりエネルギーの使用が増加した。</p> <p>一方、内部活動費が対前年比116%で大幅に増えたため排出原単位としての目標は達成することができた。</p>							
第三年度 (2018年度)	排出量	3,495	t-CO <sub>2</sub>	削減率	▲ 13.8 %	排出原単位	6.87	t-CO <sub>2</sub> /億円
	調整後	3,487	t-CO <sub>2</sub>	削減率	▲ 19.6 %		削減率	44.8 %
目標等の達成状況及び説明	<p>2018年度もビジネスが好調で人員が増加傾向にあり、さらに、社内での実験が増えたため、実験用揮発油(ガソリン)の使用が増加した。さらに、人員も増加傾向にありエネルギーの使用が増加した。</p> <p>一方、内部活動費が対前年比124%で大幅に増えたため、排出原単位としての目標は達成することができた。</p>							
計画期間全体の排出状況に関する説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体として横浜事務所はビジネスが好調で、期間中に横浜第二事務所と横浜第三事務所が増設され人員も増加傾向にあります。客先の実験だけでなく社内での実験も増えているのでエネルギーの使用量は増加した。</li> <li>原単位は内部活動費のため実験や人員増により増加しています。エネルギー削減のため実験自体を減らすことは難しい状況です。社内的な展開として「不要な電気を使わない消し忘れ防止活動」に力を入れている。</li> </ul>							

細則第38号様式（第2条第49号）  
（総括票）

6の2 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況（第3号該当事業者）

基準年度 (年度)	基準排出量		t-CO <sub>2</sub>			基準原単位		t-CO <sub>2</sub> /
	調整後		t-CO <sub>2</sub>			目標原単位		t-CO <sub>2</sub> /
目標年度 (年度)	目標排出量		t-CO <sub>2</sub>	削減率	%	目標原単位	削減率	%
排出の抑制に係る目標の設定の考え方								
事業者全体としての目標等								
第一年度 (年度)	排出量		t-CO <sub>2</sub>	削減率	%	排出原単位		t-CO <sub>2</sub> /
	調整後		t-CO <sub>2</sub>	削減率	%		削減率	%
目標等の達成状況及び説明								
第二年度 (年度)	排出量		t-CO <sub>2</sub>	削減率	%	排出原単位		t-CO <sub>2</sub> /
	調整後		t-CO <sub>2</sub>	削減率	%		削減率	%
目標等の達成状況及び説明								
第三年度 (年度)	排出量		t-CO <sub>2</sub>	削減率	%	排出原単位		t-CO <sub>2</sub> /
	調整後		t-CO <sub>2</sub>	削減率	%		削減率	%
目標等の達成状況及び説明								
計画期間全体の排出状況に関する説明								

細則第38号様式（第2条第49号）  
（総括票）

7 事業所等における温室効果ガスの排出状況

事業所等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO <sub>2</sub> )	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO <sub>2</sub> )	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO <sub>2</sub> )	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO <sub>2</sub> )
3,000k l 以上								
1,500k l 以上 3,000k l 未満	1	3,072	1	3,018	1	3,283	1	3,367
500k l 以上 1,500k l 未満								
500k l 未満			1	71	1	81	2	128
合計	1	3,072	2	3,089	2	3,364	3	3,495

8 自動車における温室効果ガスの排出状況

自動車の区分	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	台数(台)	排出量の 合計(t-CO <sub>2</sub> )	台数(台)	排出量の 合計(t-CO <sub>2</sub> )	台数(台)	排出量の 合計(t-CO <sub>2</sub> )	台数(台)	排出量の 合計(t-CO <sub>2</sub> )
普通貨物自動車								
小型貨物自動車								
大型バス								
マイクロバス								
乗用自動車								
合計								
低公害かつ低燃費な車の 導入割合(%)		%		%		%		%

細則第38号様式（第2条第49号）  
（総括票）

9の1 重点対策の実施状況（第1号及び第2号該当事業者）

重点対策	実施状況の判断を行う単位	基準年度	第一年度						第二年度						第三年度					
			対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況
第1号及び第2号該当事業者	1	推進体制の整備	事業者全体(市内分)	実施済	実施済	2/2	—	年度		実施済	2/2	—	年度		実施済	3/3	—	年度		
	2	主要なエネルギー使用設備の更新等の検討	事業者全体(市内分)	実施済	実施済	1/1	—	年度	横浜第二事務所には更新権限がない。	実施済	1/1	—	年度	横浜第二事務所には更新権限がない。	実施済	1/1	—	年度	横浜第二事務所、横浜第三事務所には更新権限がない。	
	3	機器管理台帳の整備	事業者全体(市内分)	実施済	実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度		
	4	照明設備の運用管理	事業者全体(市内分)	実施済	実施済	1/1	—	年度	横浜第二事務所には更新権限がない。	実施済	1/1	—	年度	横浜第二事務所には更新権限がない。	実施済	1/1	—	年度	横浜第二事務所、横浜第三事務所には更新権限がない。	
	5	エネルギー使用量の把握	個別票対象事業所	実施済	実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度		
	6	各種図面の整備	個別票対象事業所	実施済	実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度		
	7	外気導入量の適正管理	個別票対象事業所	実施済	実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度		
	8	フィルター等の清掃	個別票対象事業所	実施済	実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度		
	9	ポンプ、ファン及びブロワーの適正な流量管理	個別票対象事業所	実施済	実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度		
	10	変圧器の需要率管理、効率管理	個別票対象事業所	実施済	実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度		
	11	室内温度の適正管理	事業所	実施済	実施済	2/2	—	年度		実施済	2/2	—	年度		実施済	3/3	—	年度		
	12	地下駐車場の換気管理	事業所	非該当	非該当	/	—	年度	該当設備なし	非該当	/	—	年度	該当設備なし	非該当	/	—	年度	該当設備なし	
	13	照明設備の高効率化	事業所	実施中	実施中	0/1	—	2020年度	故障器具をLED化しているが、故障率の減少による効果	実施中	0/1	—	2020年度	更新計画はないが、故障した蛍光灯を随時LED化している	実施中	0/1	—	2020年度	更新計画はないが、故障した蛍光灯を随時LED化している	
	14	事務所機器の待機電力管理	事業所	実施済	実施済	2/2	—	年度		実施済	2/2	—	年度		実施済	3/3	—	年度		
	15	機器性能管理	設備	実施済	実施済	(設備の種類)空調熱源設備 6/6	—	年度		実施済	(設備の種類)空調熱源設備 6/6	—	年度		実施済	(設備の種類)空調熱源設備 6/6	—	年度		
	16	冷凍機の冷水出口温度管理	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度	目標温度に調整可能な機器（必要に応じて）と制御を実施しているため非該当のため。	非該当	(設備の種類) /	—	年度	目標温度に調整可能な機器（必要に応じて）と制御を実施しているため非該当のため。	非該当	(設備の種類) /	—	年度	目標温度に調整可能な機器（必要に応じて）と制御を実施しているため非該当のため。	
	17	燃焼設備の空気比管理	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度	ガスを燃料とする燃焼式冷暖水発生器と燃焼ボイラーは大防炎非該当のため。	非該当	(設備の種類) /	—	年度	ガスを燃料とする燃焼式冷暖水発生器と燃焼ボイラーは大防炎非該当のため。	非該当	(設備の種類) /	—	年度	ガスを燃料とする燃焼式冷暖水発生器と燃焼ボイラーは大防炎非該当のため。	
	18	排出ガス温度の管理	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度	ガスを燃料とする燃焼式冷暖水発生器と燃焼ボイラーは大防炎非該当のため。	非該当	(設備の種類) /	—	年度	ガスを燃料とする燃焼式冷暖水発生器と燃焼ボイラーは大防炎非該当のため。	非該当	(設備の種類) /	—	年度	ガスを燃料とする燃焼式冷暖水発生器と燃焼ボイラーは大防炎非該当のため。	
	19	蒸気配管のバルブ等の保温	設備	実施済	実施済	(設備の種類)加温蒸気配管 1/1	—	年度		実施済	(設備の種類)加温蒸気配管 1/1	—	年度		実施済	(設備の種類)加温蒸気配管 1/1	—	年度		
	20	工業炉表面の断熱強化	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度	該当設備なし	非該当	(設備の種類) /	—	年度	該当設備なし	非該当	(設備の種類) /	—	年度	該当設備なし	
	21	コンプレッサの吐出圧の適正化	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度	該当設備なし	非該当	(設備の種類) /	—	年度	該当設備なし	非該当	(設備の種類) /	—	年度	該当設備なし	
	22	コンプレッサの吸気管理	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度	該当設備なし	非該当	(設備の種類) /	—	年度	該当設備なし	非該当	(設備の種類) /	—	年度	該当設備なし	

9の2 重点対策の実施状況（第3号該当事業者）

重点対策	実施状況の判断を行う単位	基準年度	第一年度						第二年度						第三年度					
			対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況
第3号該当事業者	23	推進体制の整備	事業者全体(市内分)	/	—	年度		/	—	年度		/	—	年度						
	24	自動車の適正な使用管理	事業者全体(市内分)	—	/	年度		—	/	年度		—	/	年度						
	25	エネルギー使用量等に関するデータの管理	事業者全体(市内分)	—	/	年度		—	/	年度		—	/	年度						
	26	エコドライブ推進体制の整備	事業者全体(市内分)	/	—	年度		/	—	年度		/	—	年度						
	27	自動車の適正な維持管理	事業者全体(市内分)	/	—	年度		/	—	年度		/	—	年度						

10 目標対策及び事業者の発意による対策の実施状況

- （注意事項） ・対策の効果が重複して計上されない様にご注意ください。  
 ・燃料・熱・電気等の使用量は、一年間での値に換算して記入してください。  
 ・記載欄が不足する場合は、横浜市へご連絡ください。

		削減量合計 事業者総排出量		事業者総排出量 (t-CO2)		CO2排出量合計① (t-CO2)		CO2排出量合計② (t-CO2)		削減量合計 (t-CO2)					
		%													
連番	具体的な対策	事業所名	対策の実施年度 (西暦)	実施前				実施後				削減量 □(t-CO2)	投資金額		
				実施前の運用状況/設備状況	燃料・熱・電気等の使用量			CO2排出量 (t-CO2)	実施後の運用状況/設備状況	燃料・熱・電気等の使用量				CO2排出量 (t-CO2)	
					種別	使用量	単位			種別	使用量				単位
													千円		
													千円		
													千円		
													千円		
													千円		

細則第38号様式（第2条第49号）  
（総括票）

11 再生可能エネルギー利用設備等の導入状況

番号	設備機器の種類	導入年度	性能等	備考
1	LED照明	2014年度	FLR蛍光灯 40W→LED 18W 2018年度までに、2,513本交換済	削減消費電力量：72MWh
2		年度		
3		年度		
4		年度		
5		年度		

12 クレジット等に関する取組状況

番号	種類	年度	オフセット対象範囲	特定温室効果ガス換算量	備考
1	電気の使用	2018年度	横浜市内事業所	8	東京電力エナジーパートナー株式会社
2		年度			
3		年度			
4		年度			
5		年度			

13 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度までの対策	
計画期間内に実施する対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>水道の使用量削減に係る対策</li> <li>廃棄物の排出量の把握及び削減に係る対策</li> </ul>
第一年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>水道の使用量削減に係る対策</li> <li>廃棄物の排出量の把握及び削減に係る対策</li> </ul>
第二年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>水道の使用量削減に係る対策</li> <li>廃棄物の排出量の把握及び削減に係る対策</li> <li>敷地内に、常緑の植物を植えている。屋上・壁面の緑化植栽を行っている。</li> <li>毎週金曜日は、定時退社日としている。</li> </ul>
第三年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>水道の使用量削減に係る対策</li> <li>廃棄物の排出量の把握及び削減に係る対策</li> <li>敷地内に、常緑の植物を植えている。屋上・壁面の緑化植栽を行っている。</li> <li>毎週金曜日は、定時退社日としている。</li> </ul>

14 実施状況等に対する自己評価

計画年度期間は、電気・ガス・水道や廃棄物の量の削減は継続的に実施してまいりました。人員増加や設備増設もありますが、引き続き地球温暖化防止に取り込んでまいります。